

こんにちは 日本共産党福生市議会議員

池田公三 さん ですよ

No. 36 2013. 4. 28  
事務所 志茂 115 アイエスマンション101号  
電話 042-530-0705  
ホームページ 池田公三 検索  
なんでも相談 第1火曜 午後7時



私の最近の活動から紹介します。字数の多いニュースで申し訳ありませんが、がまんしてお読みください。詳しくはホームページをご覧ください。

## 関東航空機衝突防止会議って？

4月21日(日)に、横田基地で、「関東航空機空中衝突防止会議」という物騒な名称の会議が開催されました。考えてみれば、おかしな話です。日本政府(防衛省)ではなく、米軍が主催です。日本の空は米軍によって支配されているということが改めて思い知らされます。首都の空さえ管理できない国って、これで独立国と言えるでしょうか？

参加したのは、横田基地の軍人のほか、日本の軽飛行機パイロット、航空事業関係者です。関東平野一帯には、民間の小型機やグライダーなどの飛行施設があります。米軍は、民間のパイロットたちを呼びつけて、米軍のC130の低空飛行訓練の邪魔にならないように、彼らのルールを守らせるのでしょう。その空の下で暮らす我々市民には、どんな取り決めなのか、何も知らされません。福生市当局も詳しい内容は知らされていないのです。

横田基地の撤去を求める西多摩の会は、福生市など周辺自治体に対し、①自治体もこの会議に参加させるよう米軍と防衛省に要請すること。②正確な情報を入手し、広報などで市民に知らせるよう申し入れました。さっそく、市も動き、会議資料が提供されました。ここには、重大な内容も含まれており、今後、共産党国会議員と連携して防衛省に説明を求める予定です。

## 憲法96条改悪の狙いは

憲法96条には、国会が憲法改正を発議するには、2/3以上の賛成が必要と規定していますが、自民党はこれを「過半数」に変えようとしています。

2/3でなくて、「過半数」になれば、そのときの政権は、自由にいつでも憲法のどこでも変える発議ができることとなります。一般の法律を作ったり変えたりするのと同じです。国民投票でチェックできるからいいんじゃないの？ という人もいるでしょうが、実はここが落とし穴。国民投票では「過半数」の賛成でいいんです。すなわち、政権を獲得できた票さえ維持できれば成立して

しまうのです。国民投票の投票率を何パーセント以上とする規定もありません。最悪、1割程度の投票結果で憲法が改悪されてしまうことも起こりえるのです。国民の無関心と政治不信を利用して、一部の勢力が憲法を都合の良いように変え、ファッショ的な政治を可能にしてしまう恐れがあるのです。

改憲勢力は、「日本国憲法は一度も改憲されたことがなく、それは諸外国に比べて2/3以上という厳しすぎる制約があるからだ。」と言います。しかし、自民党自身が出した改憲の討議資料を見ても、この理屈はおかしいことがわかります。アメリカ、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、中国、韓国の7カ国を比較していますが、カナダ以外の6カ国はすべて2/3以上という厳しい制限を設けています。どうして、これで、日本が「世界的に見ても改正しにくい憲法になっている。」なんて言えるのでしょうか？ まったく事実と反します。

日本の憲法が一度も改正されてこなかったのは、改正の必要がないほど優れた内容を持った憲法だということを示しているのだと思います。憲法の本質に沿って法律を整備すれば十分対応できるものだったからです。96条は時の権力に勝手にさせない大切な規定なのです。

## 春は花！

市議会議員になって一番困ることは、趣味の時間がなかなか確保できないことです。教員を退職したら、念願のやりたかったことをいろいろやるぞ！・・・と、楽しい夢を描いていたものですから。

そんな中で、園芸は、少しの時間で家できることなので、細々と続いている趣味のひとつです。今朝は、少し時間があつたので、菊の挿し芽をしました。冬の間、軒下の寒冷紗の中で過ごした寄せ植えの鉢花もようやく咲き始めました。



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報

発行 2013年 4月  
日本共産党福生市委員会  
責任者 松山 清  
福生市熊川 689-18

# 動き始めました！ 学校現場の労働安全衛生

私は、学校教職員出身の市議会議員として、学校現場の劣悪な労働環境を何とか改善したいと考えてきました。競争主義教育が学校現場に色濃く持ち込まれるようになってからは先生方の病気休職、特に、精神疾患による休職が他の職種に比べて突出して多くなってきました。市議会の一般質問でもそのことを指摘し、労働安全衛生管理体制の整備を求めて、質問してきました。

幸い、福生市教育委員会も、積極的に受け止め、取り組んでくれました。まず、一昨年、労働安全衛生法に規定されている衛生推進者として、すべての学校で副校長を選任し、専門家を招いて研修会を実施しました。そして、昨年は、各職場ごとに副校長が講師となって伝達講習会を実施しました。先生方の労働安全衛生についての意識も高まったのではないかと期待しているところです。今後は衛生推進者を中心にして、毎月、各学校のよりよい労働安全衛生について、論議し、改善して行ってほしいと思います。

そしてこの4月からは、「時間外労働の時間数集計表」が整備され、一人一人の先生が自分の時間外労働を自主申告するシステムが整いました。産業医を置くことは実現していませんが、週40時間を超えて月100時間以上超過勤務している教職員について、医師による面接指導が行われることになりました。自宅への持ち帰り仕事は時間外労働にカウントされませんが、それでもこれは大きな前進です。今後、これがどのような効果をあげるか注目していきたいと思います。

## 座り込みを初めて4年 基地に依存しない福生市を目指して

私は、日本中から米軍基地がなくなってほしいと思っています。沖縄であんなにがんばっているのに、首都東京にある横田基地に対しても、きちんと異議申し立てをしなくてはと、西多摩の仲間と始めた座り込み行動。3月の座り込みでは、4周年を記念して青空講演会がありました。小泉親司さんの話にはいつも（へ～、そうだったんだ）と驚かされるのがたくさんあります。その中から新知識をひとつ。

米軍の背景で軍需産業が利益をむさぼっていることは知っていましたが、保険会社と製薬会社も米軍兵士から莫大な利益を上げていることが話されていきました。アメリカに国民皆保険制度がないのは、保険会社がもうけるためということでは知っていましたが、兵士の死や負傷、極度のストレスから来る精神疾患も保険会社や製薬会社の利益計算のうちに入っているとは考えていませんでした。資本主義って、利潤追求のためには人間の理性さえ麻痺させてしまう側面があるということ。今、大問題になっている日本のTPP加入問題も、アメリカの保険会社や製薬会社の力が働いているのでしょね、きっと。歴代政権が、国民健康保険制度をぶちこわそうとしているのも、同じ背景があるのでしょうか。3月の福生市議会で論議した基地問題や国保税問題も、そうした角度から考えると、それを推進しよう、あるいは擁護しようとしている人たちも、少しは考えが変わるのではないかと思った次第です。横田基地の撤去を求める座り込みは、毎週第3日曜日に、基地前のフレンドシップパークで行っています。どうぞ、みなさんご参加ください。



## 南相馬にひまわりの種を届けよう

福生市福祉センターの若い職員の方々が中心となって、ひまわりの種 里親ボランティアを募集しています。ひまわりを福生市民に栽培してもらい、収穫した種を福島県南相馬市の障害者施設などに届けます。そこで、ピュアオイルなどに加工され、新たな仕事を生み出すための取り組みにつながっていくそうです。ひまわりの栽培を楽しみながら、被災地でも特に困っておられる障害者施設の支援にも役立つので、とても良い取り組みだと思います。

私も、さっそく、先日、福祉センターに行って種をいただいてきました。まだまだ、たくさん種が残っていました。知人に広げようと、5袋もらってきました。みなさんも、参加しませんか。

